

2期施工監理を受注

オリコンサルグローバル

ミャンマー都市間高速鉄道

オリエンタルコンサルタ
ツグローバルは30日、ミ
ャンマー最大の都市ヤンゴ
ンと第2の都市マンダレー
を結ぶ都市間高速鉄道の施



工監理業務を受注したと発
表した。同鉄道のほぼ中間
に位置するタングー・マン
ダレー間を対象に、土木工
事や信号通信設備などの施
工監理を担う。鉄道輸送の
強化と老朽した施設・設備
の解消に貢献する。
鉄道整備事業は、国際協
力機構（JICA）の有償
協力を受け、ミャンマー鉄
道公社が発注した。ヤンゴ
ン・マンダレー間（全長約
620キロ）の鉄道施設や軌
道などを改修する計画だ。
2018年11月に着工し
たヤンゴン・タングー間
（延長約270キロ）の「フ
ェーズ1」に続き、タング
ー・マンダレー間はプロジ
ェクトの「フェーズⅡ」に
当たる。施工監理のコンサ
ル業務は同社と日本コンサ
ルタツ、パシフィックコ
ンサルタツ、日本工営、
トニチコンサルタツトラ
のJVが担当。全区間の完
成は24年を予定している。
鉄道輸送力の強化により、
これまで14時間かかってい
た乗車時間が約8時間に短
縮される。
22日に首都ネピドーのミ
ャンマー国鉄本社で契約調
印式が行われた。バー・ミ
ン国鉄総裁とオリコンサル

グローバルのユインヨシラ
ッタナクル・ナレントーン
軌道交通技術第一副部長
が契約書を交換した。

